



〈自分（たち）でつくるみんなの学校 ～日本一美しい学校を目指して～〉

# 成美っ子

学校だより 令和5年度No.5

## 安全・安心、温かい町で育まれる成美っ子

教頭 川岸 由美

本年、5月8日に新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行され、本来の日常生活が戻りつつある中での夏休みでしたが、命を脅かすような猛暑日が続き、熱中症アラートが何日も発令されるなど、子供たちや保護者の皆様は、今までに経験したことのない日々を過ごされたことと思います。4年ぶりに予定していた学校プール開放は、熱中症アラート発令のため全て中止となりました。家庭や地域の行事等はいかがだったでしょうか。この暑さが続く中、2学期が始まりました。登校時からすでに気温が30℃近くある中で、汗びっしょりになりながらも、子供たちは元気に登校し、明るい声で自分から挨拶をしています。昨年度から赴任した私にとって、「成美っ子は、朝から元気よく進んで挨拶ができる子供たちだなあ」と日々感心しています。

このように、成美っ子が朝から元気に挨拶ができるのは、地域の守ろう隊の方々の温かい声かけがあるからだと感じています。「おはよう」「がんばってこられ」「昨日はお休みやったね。元気になった？」と、子供たちの交通安全を見守るとともに、温かく接してくださっています。中には、グータッチをして子供たちを見送ってくださる方もいらっしゃいます。そして、子供たちも、守ろう隊の方々と元気に挨拶をかわしています。守ろう隊の中には、交通量の多い所では、子供たちに付き添って歩いてくださったり、一緒に歩きながら地域の美化のためにごみ拾いをされたりする方もいらっしゃいます。



また、守ろう隊の方が「〇〇さんが小さい子に合わせて歩いているよ」「〇〇さんの挨拶元気いいね」と、子供たちの様子を逐一私たち教員に知らせてくださいます。教員は学校の中だけでは知りえない情報を得ることで、子供たちを褒める機会が増えています。守ろう隊の方々は、安全を見守るだけではなく、子供たちの日々の様子をよく見てくださっています。地域は、子供たちにとって、人と人との出会いを通して、よりよい生き方を学ぶ大切な教育の場であるとともに、学んだことを実践する場でもあります。このような温かい地域の方々の中で育つ成美っ子は、とても幸せです。

先日、私自身も地域の方から温かい声かけをいただきました。学校閉庁期間のある日、花壇の水やりをしていました。暑さに加えて蚊にはさされるし、小1時間の水やりには、体がぼて気味でしたが、そんな時、地域の方が「ごくろうさん」「成美の花壇、本当にきれいやね。ありがとう」と声をかけてくださいました。その声のおかげで、私は一気に元気を取り戻すことができました。

7月の豪雨は、まだ記憶に新しいと思います。成美小学校も避難所となり、60～70名程の方が避難して来られました。グラウンドの水はけの悪さや側溝にあふれた水の様子を見られた自治会長さんが、地域に呼びかけて側溝のどろ上げを提案してくださいました。どろ上げは学校でも課題の1つとして考えておりました。10月に地域とPTAと学校が協力して作業をすることとなり、とてもありがたいお声かけでした。

このような温かい地域で育つ成美っ子。成美校区の未来を担う子供たちは、地域を誇りに思い、地域を大切にしていけることでしょうか。大人になっても、校訓である「かしこく」「つよく」「美しく」の心を忘れずに、地域のために貢献してほしいと強く願っています。

今後とも成美っ子の健やかな成長のため、保護者の皆様、地域の方々のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。